

# 抱っこひも「ヒヤリハット」体験募集 結果報告

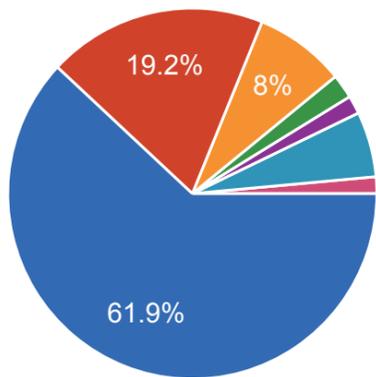
2016年12月、抱っこひもを使用する中で体験した事故や怖い経験(ヒヤリハット)体験を募集しました。その結果756件もの回答をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。アンケート結果は、今後の安全啓発活動や会員企業の製品開発、取扱説明書の内容などに役立てさせていただきます。

本結果報告では、抱っこひもの種類からヒヤリハットの状況やその後など体験談も交えご紹介させていただきます。なお、ヒヤリハット体験 第1位の「落下の危険」については下記リンクにてご覧いただけます。

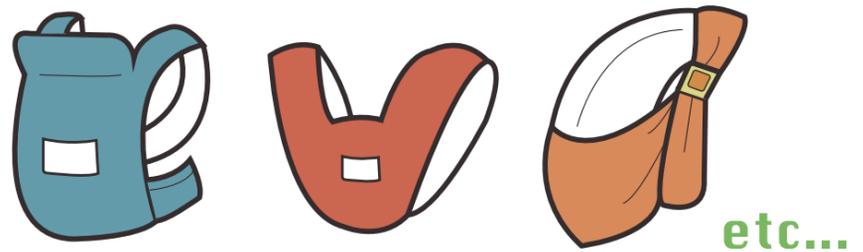
ヒヤリハット体験 第1位は「落下の危険」  
<http://dakkohimo.jp/archives/news/report01>

## ご使用していた商品について

### Q1. 抱っこひもの種類

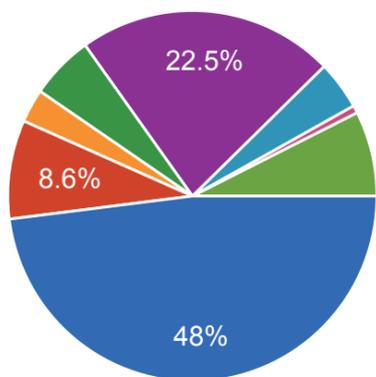


- 腰ベルト付きベビーキャリア
- 腰ベルト無しベビーキャリア
- スリング
- ラップ
- ヒップシート
- 紐で結ぶタイプの子守帯
- その他



腰ベルト付きタイプが多く使用されています。色々なタイプの抱っこひもがありますので、生活スタイルにあったお気に入りを選んでください。

### Q2. 購入場所

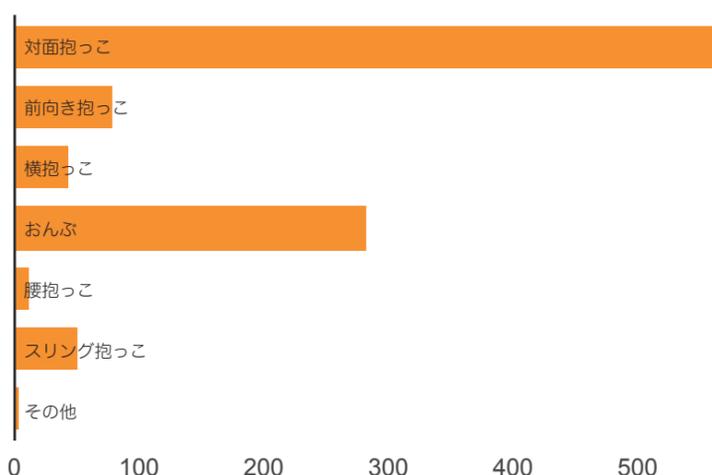


- 専門店 (赤ちゃん本舗やベビーザラス、西松屋、他小売店など)
- 総合スーパー (イオンやイトーヨーカドーなど)
- メーカー直営店
- デパート
- オンラインショップ (楽天やアマゾンなど)
- リサイクルショップ、オークション、フリマアプリ
- レンタル
- その他



専門店の次に多い購入場所がインターネット店舗。事前に使い方の指導を受けられないので、取扱説明書や使い方ビデオなどでしっかり練習してください。

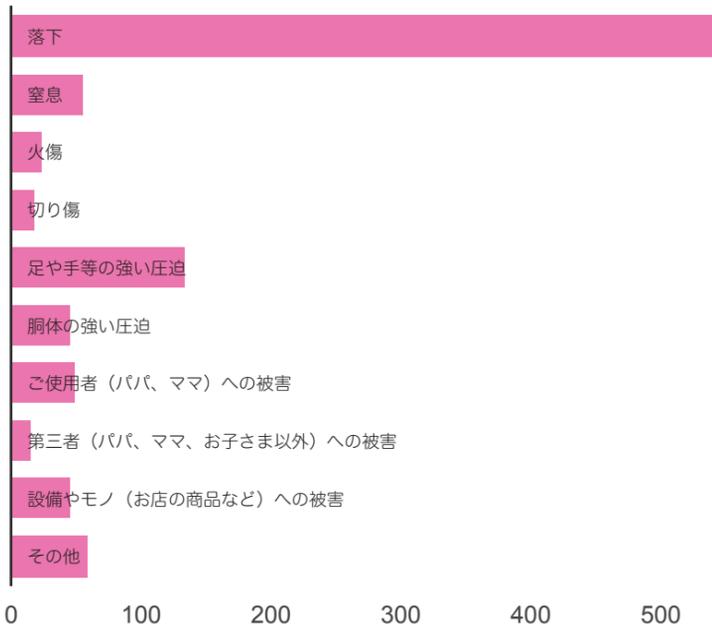
### Q3. 使用方法の種類



町でよく見かける対面抱っこが多数でした。対面抱っこは足元が見えにくい、おんぶでお店に行ったら商品に赤ちゃんが手を伸ばしていたなどの体験談も。抱っこからおんぶへ切り替えて慣れない時期は特に慎重に使用してください。

## ヒヤリハット体験について

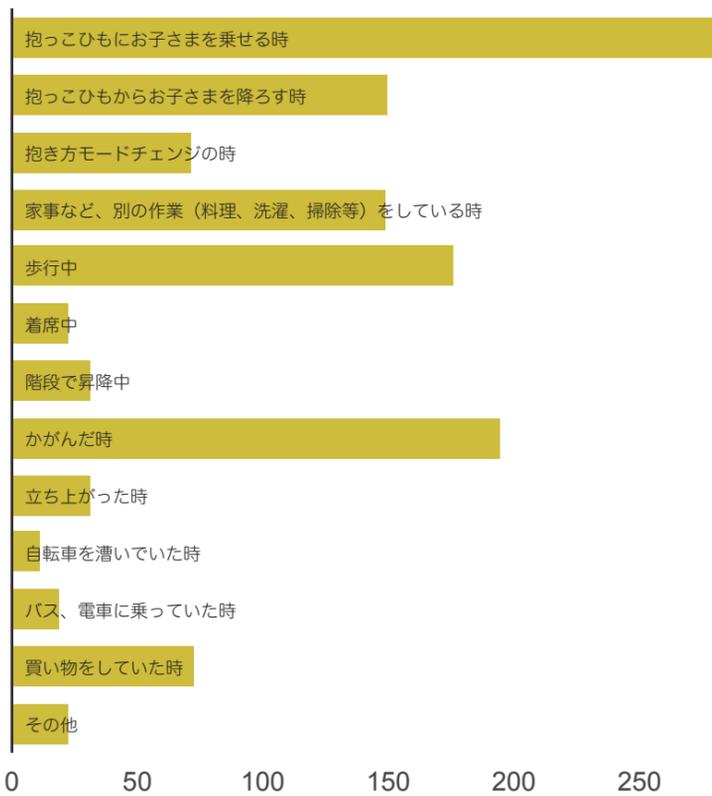
### Q4. どのような事故、またはヒヤリハット体験でしたか？



- ・前屈みになったときに子供に動かされて、頭から落下しそうになった（東京都・女性）
- ・子どもの肩と頭をささえるベルトを外しているときにかがんだら落下しそうになった（山口県・女性）
- ・使い方が不慣れだったのか位置がうまく定まらず、子どもの足が圧迫されてしまった（静岡県・女性）
- ・足が通常出るところと別の場所から出ていたため、気づくまで赤ちゃんの足が圧迫された（茨城県・女性）

落下した・しそうになったという経験が大多数を占めました。次に多いのが圧迫です。落下しないよう赤ちゃんを強く拘束しすぎた体験談も。落下についての考察をまとめました。下記リンクをご覧ください。  
[ヒヤリハット体験 第1位は「落下の危険」  
<http://dakkohimo.jp/archives/news/report01>](http://dakkohimo.jp/archives/news/report01)

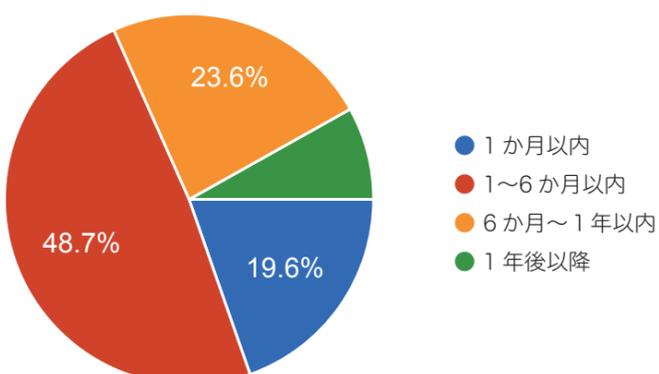
### Q5. その時、何をしていましたか？



- ・子供を乗せる時にすり抜けて落ちそうになった（兵庫県・男性）
- ・抱っこ紐を外してチャイルドシートに乗せる際に落としそうになった（神奈川県・女性）
- ・抱っこしたまま、かがんで靴を履いたり物を取る時に落ちそうになった（愛知県・女性）
- ・屈もうとした時に、子どもが仰け反り転落しそうになりました。（大阪府・女性）

乗せ降ろし時、かがんだ際などふとした動作でひやりとするようです。なお、歩行中は赤ちゃんが仰け反ってしまうことで落ちそうになった体験談も。抱っこひもの緩みがないか着ける前に確かめてください。

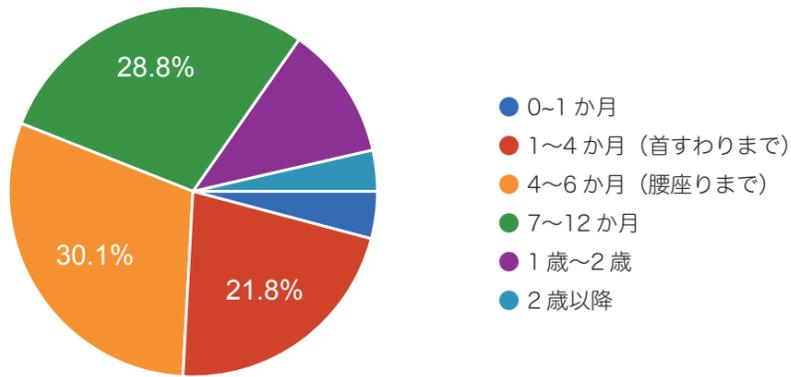
### Q6. 使い始めてからどのくらいの期間が経った後ですか？



- ・まだ使い慣れていない頃、階段の上り下りの最中に足もとがよく見えず、転びそうに（愛知県・女性）
- ・生後6ヶ月の子を抱っこしようとするときに子が動き、落下しそうになった（埼玉県・男性）

使い始めて6ヶ月以内が大多数でした。この時期は赤ちゃんの成長により首すわり、腰すわりと変化の多い時期。突然の動きも多くあり、使い慣れていても注意して使用してください。

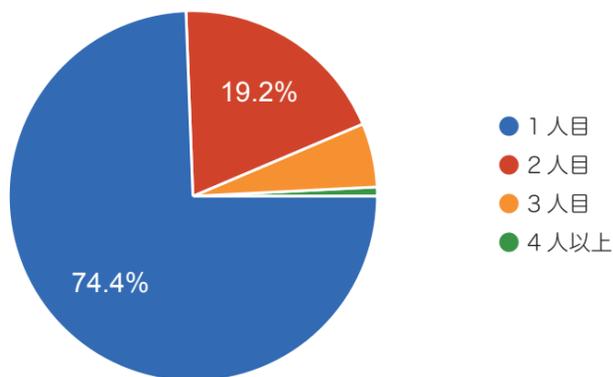
## Q7. お子さまの月齢



- ・子供の3か月検診で、手続きをして何も考えずにかがんだときに、ズルッと頭から落下しそうになった。(東京都・女性)
- ・商品の対象体重を超えていたことに気づかず使用を続けてしまっていたら、抱っこして歩いている時に、突然金具が外れて、子どもが落ちそうになった。(東京都・女性)

腰すわり以降は、赤ちゃんが仰け反ったり暴れることで落ちそうになるなどのご意見が多く見られました。

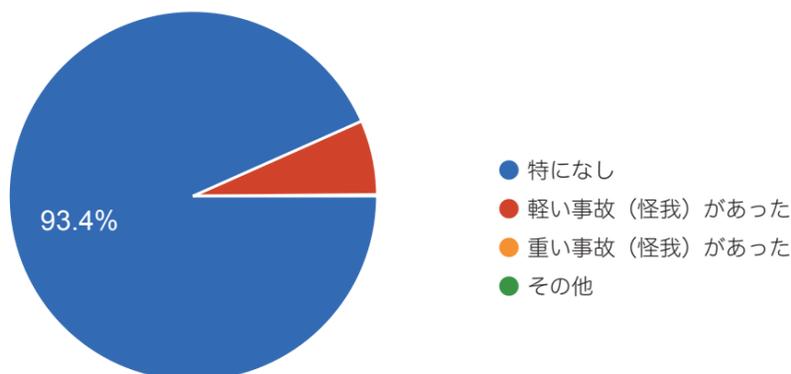
## Q8. お子さまの人数



- ・1人目育児の際、経験もわずかでおんぶから布団に下ろす時に、落としそうになった(宮城県・女性)
- ・2人兄弟で上の子を抱き上げようとした際、つい前屈みになりすぎて下の子が抱っこ紐から落ちそうになりました(千葉県・女性)

お子様が1人目の時に起きたヒヤリハットが多いようです。2人目になると経験はありますが、注意力を2人に向け続けるのはどうしても難しいですね。

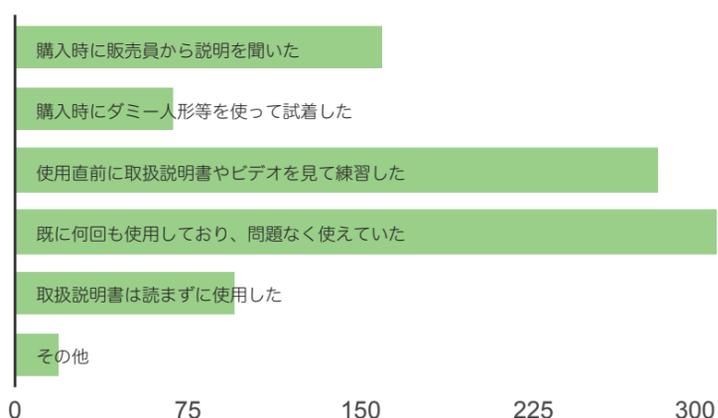
## Q9. 実際の被害



- ・抱っこしたまま下のものを取ろうとかがんだときに、赤ちゃんの身体がズルッと出てきて危うく床に落下しそうになったので、必死に止めた(東京都・女性)
- ・まだおんぶモードに慣れていない時におんぶしようとして赤ちゃんが落下しました自宅のカーペットの上だったので幸い怪我には至りませんでした(千葉県・女性)

落ちそうになった、実際に落ちたがなんとなかったというご意見が多数でした。しかし油断は禁物!中には骨折してしまったなどの体験談もありました。

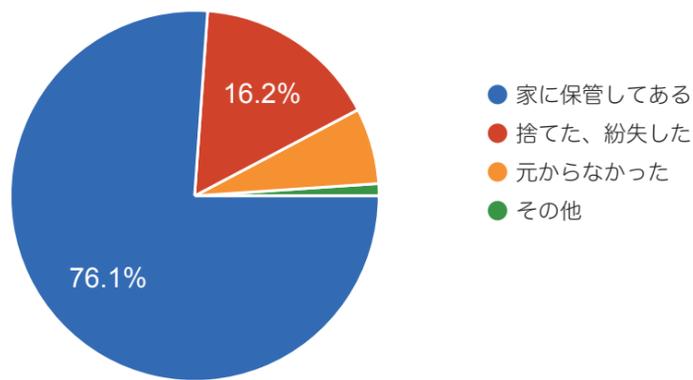
## Q10. 使用方法の認識について



- ・通販で買ったので(販売店などで)直接は話をしていない(石川県・女性)
- ・説明書やネットでかなり研究した(大阪府・女性)
- ・動画投稿サイトで見た(岩手県・女性)

残念ながら、取扱説明書を読まずに使用したという回答もありました。取扱説明書には正しい使い方だけでなく、誤った使い方なども載っています。誤った使い方をしていないか定期的に読み返してみてください。

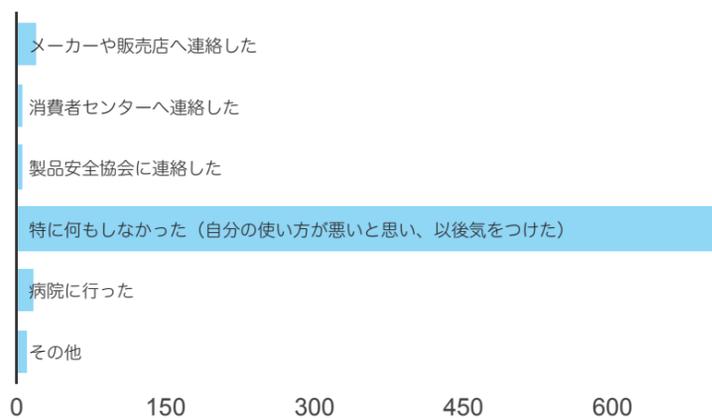
## Q11. 取扱説明書について



- ・説明書を読まずに自分でスリングが取れないように結んだつもりが赤ちゃんを乗せた時に緩んで落としそうになった（東京都・男性）
- ・説明書を読んで理解したつもりが、片手で調節するのがむずかしく夢中になっていると、子供を支えていた方の手が滑り落としそうに（東京都・女性）

取扱説明書を読み返すと、対象年齢を過ぎていた！などの体験談もありました。必ず保管をお願いします。もったり、中古品の購入の場合は取扱説明書が付いているのかも確認するようにしてください。

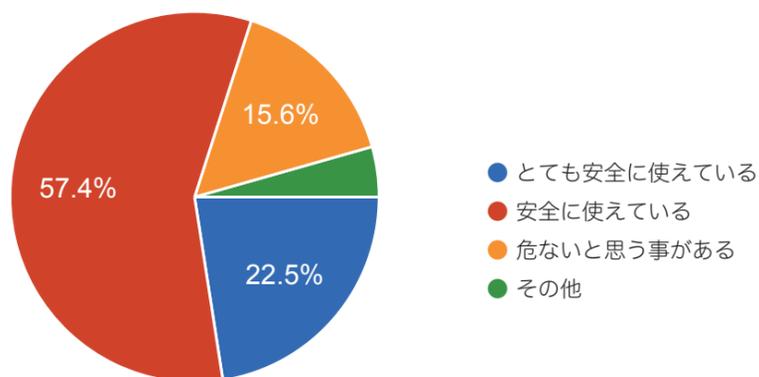
## Q12. 事後対応について



- ・胸ぐらいの高さから落下したので大きなたんこぶができ、病院に行きました（埼玉県・女性）
- ・頭頂部に擦り傷が少しあった程度で、病院で検査してもらいましたが、出血や骨折はしていませんでした（三重県・女性）

「落下しそうになった」というヒヤリハット体験のため、特にアクションはとらなかったという回答が多かったです。怪我をしてしまった場合には必ず病院で診察しましょう。製品で気になる問題がある場合は、メーカーに直接相談するようにしてください。

## Q13. 今は、安全に使用できていると思いますか？



- ・説明書を読み使い方をしっかりしてからは大丈夫になりました。（東京都・男性）
- ・抱っこ紐を変えるときは特徴による使用感の違いに注意しなければならないと思った（東京都・女性）

ふとした時のヒヤリハット体験が多くありました。そのためか、普段は安全に使えているという回答が半数以上を占めました。今一度、使用方法や対象年齢をご確認ください。

## 最後に

今回のアンケートを通じて多くの体験談をお寄せいただき誠にありがとうございます。本来であれば、いただいた体験談を全てお伝えしたいところですが、一部のみのご紹介になってしまいました。お寄せいただいた体験談には全て目を通し、各企業の商品改善に役立てさせていただきます。結果をご覧いただく中で、心当たりがある体験談などが一つでもありましたでしょうか。もしくは、これから抱っこひもをお使いいただく際の参考になったでしょうか。

今後も、抱っこひも安全協議会では抱っこひもの正しい使用方法等の啓発活動を推進してまいります。よりよい育児のため、アンケートのみならずイベント情報なども積極的にお伝えしてまいります。ぜひHPをチェックしてみてください。